

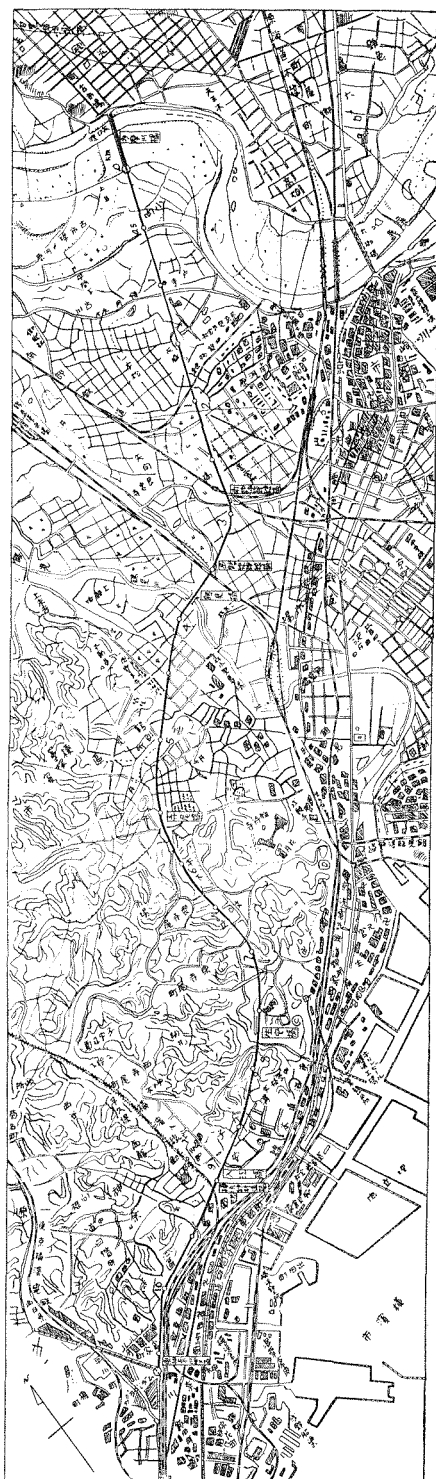
新 京 濱 (36 號) 國 道 新 設 工 事

内務省横濱土木出張所長

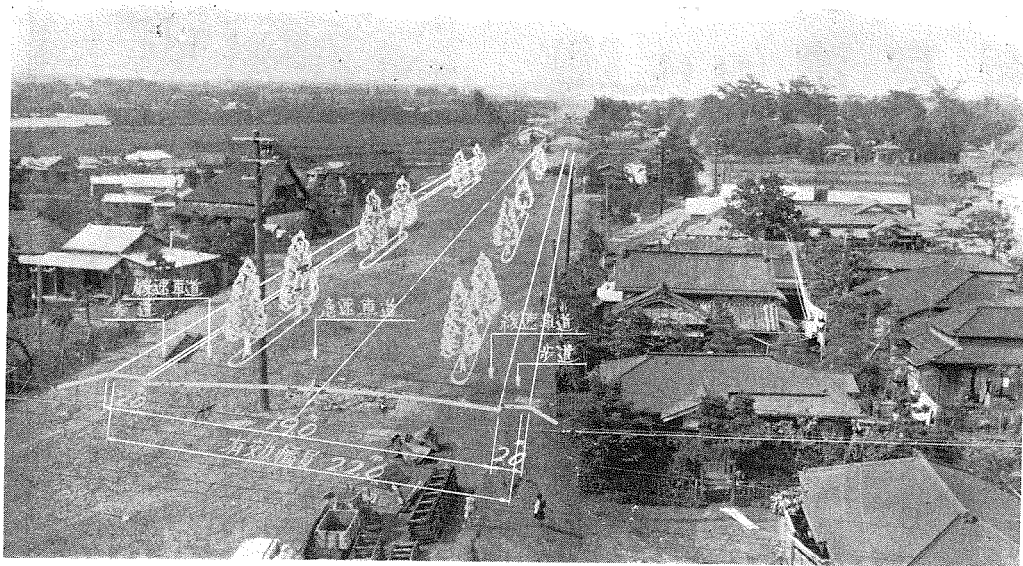
春 木 節 郎

本工事は既に飽和状態に達したる現國道の交通を緩和するを使命として着手せられたものであるが、軍事上も亦其重要性が期待せらるゝ路線である。多摩川を挟み東京府側は内務省東京土木出張所々管、神奈川縣側は内務省横濱土木出張所の所管にして、神奈川側は川崎市古市場下耕地（多摩川中央）より横濱市神奈川區西神奈川町二丁目に至る。幅員は23米にして、高速及低速車道を劃然と分離した事は特徴の一として數へる事が出来る。

總工事費は 9,500,000圓にして、昭和11年度より同16年度に至る 6 個年繼續事業であるが、工事は川崎市元木町64番地に事務所を置き、横濱市神奈川區、同鶴見區、川崎市内に 3 工場を設け施行するものである。既に土地買収、物件移轉の大半を完了し、土工々事は約50%の出來形を示し、溝橋工事も着々進めつゝある。橋梁の主なるものは 7 個所あるが橋梁工事は昭和13年度から本格的に施工する豫定である。

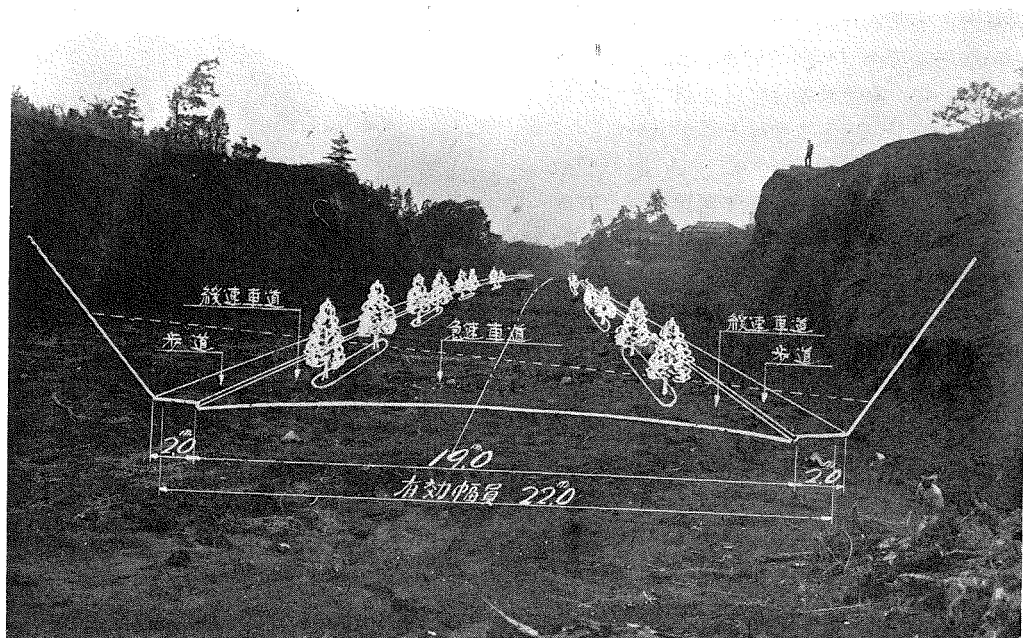


(1) 國道36號線(新京濱國道)平面圖。



(2) 新京濱國道工事状況・川崎市小向地先測
點 No.55より起點(多摩川中央)を望む。

(3) 新京濱國道工事状況・横浜市鶴見區東
寺尾町地先、測點No.330より測點No.
325を望む。





- (4) 新京濱國道工事状況・横濱市鶴見區生
麥町地先測點No.390より測點No.386
を望む橋梁は新生安橋の假想圖である。
- (5) 新京濱國道工事状況・横濱市神奈川區
七島町地先、測點No.450より測點No.
460を望む。

